



2024-25年度 RI会長  
ステファニー A. アーチック



No.3577 12月17日(火)

● 本日の卓話

## 「年末家族会」

(例会17:30～、家族会18:00～)

於：ホテルグランヴィア和歌山

● 次週の卓話

## 「年男卓話」

村田弘至 会員、濱田 勝 会員、福辺昌紀 会員、  
塚本貞治 会員、岩西智宏 会員、松本真治 会員

● 先週の例会記録

- ✳️ロータリーソング 日も風も星も
- ✳️ビジター紹介 ビジター  
和歌山城南RC 会長 堂西誠治さん、  
直前会長 東 徹さん、  
幹事 岡本昌也さん

✳️出席報告 (会員数78名、免除会員1名)  
本日出席(12/10) 56名 71.79%

✳️メイキャップ 地区へ3名

✳️S. A. A. (ニコニコ箱) 和歌山城南RC様、松井良樹さん、野井和重さん、脇坂三蔵さん、中谷 弘さん、木谷聡一さん、福地達明さん、西岡千博さん、木村吉幸さん、中谷久生さん、村田弘至さん、豊田英三さん、島村安昭さん、宮本克之さん、紀 俊崇さん、松尾泰明さん、垣本英作さん、岩西智宏さん、中野智一さん、和中美喜夫さん、湯川 進さん、高 誠さん、野志幸生さん、市川 晃さん、瀬川良浩さん、檜畑直尚さん、河村秀樹さん、中谷友紀さん、知念章雄さん、北山晴造さん、吉川正永さん、上野雅巳さん、上園芳孝さん、廣井久道さん

本日合計 ￥163,500 今年度累計額 ￥1,173,500

(財団寄付献金箱) 松井良樹さん、野井和重さん、脇坂三蔵さん、中谷 弘さん、木谷聡一さん、福地達明さん、西岡千博さん、木村吉幸さん、村田弘至さん

(米山奨学会献金箱) 松井良樹さん、野井和重さん、脇坂三蔵さん、中谷 弘さん、木谷聡一さん、福地達明さん、西岡千博さん、中谷久生さん

(青少年育成奨励金) 松井良樹さん、野井和重さん、脇坂三蔵さん、中谷 弘さん、木谷聡一さん、福地達明さん、西岡千博さん、木村吉幸さん

● 会長あいさつ

### 会長 野井和重

#### 【皇室祭祀】

みなさまこんにちは。7月から始まった2024-2025年度も折り返し地点まで来ました。歴史ある和歌山ロータリークラブの会長は大変だろうなと想像はしておりましたが、なかなか気を遣うものでありますが、皆様のおかげで楽しくすすめられています。後半も頑張りますので、よろしくをお願いします。

会長のキャラクターによって卓話や例会の進行など多種様々であります。私年度2024の最終卓話は「宮中の祈り」というお話を、また後程詳しくご紹介はさせていただきますが、宮内庁で掌典職内掌典をされてこられました、加茂神社宮

司 橋爪かおりさまにお願いをしています。橋爪宮司本日はお越しいただき有難う御座います。

いまだに私も「祝祭日」と言ってしまう事があります。ご存じのように今の日本では「祭日」というお休みはありません。本日の卓話でもお話があると思いますが、「皇室祭祀」とは皇室祭祀令により定められた大祭日及び小祭日のことで、大祭日の大半は祝日とともに国家の休日として法制化されていきましたので、祭日と祝日を合わせて祝祭日と称することがありましたが、皇室祭祀令は1947年(昭和22年)5月2日に廃止され、現在は日本に法定の「祭日」は存在せず、以降の宮中祭祀に踏襲されて一部は名称を変えて国民の祝日になっている日付があるということになります。平安時代より口伝により連綿と受け継がれてきています。皇室のお祭りごとを、本日おうかがいできることを楽しみにしております。

## 12月は疾病予防と治療月間です



誕生日お祝い

## 会長報告

■地区大会にて部門賞5件受賞の報告



■25年3月1日インターシティミーティングに積極的なご出席をお願いします(ホストクラブ/和歌山城南RCよりご案内)



和歌山城南RCの皆様  
(左から)岡本昌也幹事、堂西誠治会長、東 徹 直前会長

## 幹事報告

- 例会変更のお知らせ(和歌山東RC、粉河RC、有田南RC、田辺RC、田辺東RC、高野山RC、那智勝浦RC)
- ガバナー月信卓上配布、
- 公式ロゴ徽章購入のご案内
- 25年6月19~24日国際ロータリー カルガリー大会への参加ご案内

## 委員会報告

出席・プログラム委員会 田村 欽 彰 委員長

■2023-24年度出席表彰

12/3欠席分：樫畑会員、村田会員



14年間 樫畑直尚会員



7年間 村田弘至会員



親睦・ソング委員会

坂東 信 幸 委員長

■24年12月17日年末家族会(ホテルグランヴィア和歌山)の開催について

## 卓 話

### 「宮中の『祈り』」

加茂神社 宮司

橋 爪 かおり さん



皇居の木々が鬱蒼と生い茂る森の中に清浄で特別な場所とされる宮中三殿はお鎮まりです。その宮中三殿賢所で昭和から平成への御代替わりを内掌典としておつとめさせていただきました。

内掌典とは神事に携わる女官で、時代によって呼び名は変わりますが、平安時代から存在します。現在では宮中祭祀をつかさどる掌典職に所属しますが、内廷職員の仕事です。未婚女性に限り、賢所のすぐ側に住み込みで生活をしています。遠い昔から続けられてきた神事、御殿の御用をし、言葉や着物、年間の行事など、古のしきたりの中で伝統を守って生活しています。

内掌典はまず、特殊な髪型である「おすべらかし」の一種「おさえ」を自ら結び上げるとするのが最初の試練です。そして、言葉も御所言葉を使い、度々に申し上げる口上なども覚え、身に付けなければなりません。また、賢所を、神様を最もお清い状態に保つため「次、清」という厳重な区別を常日頃から心掛ける事が肝要で、内掌典の重大任務となります。

宮中で行われているお祭りは宮中祭祀、皇室祭祀とされますが、皇室のことをお祈りするものではなく、「御親祭」と申し上げて天皇陛下御自ら斎主、祭主として国家の安寧、国民の幸福。世界の平和をお祈り遊ばすものなのです。その祈りの場を極めて清浄に保ち「賢所様、ご静謐にあらせられまして、お上のごきげんよう、万々年までも幾久しゅう、ご寿命ご長久さんにご繁栄さんであらせられますよう」と祈りの重責を担った天皇陛下がいつまでもお健やかでありますようにと古より変わることのない内掌典の祈りです。



卓話ゲスト・橋爪かおりさんと野井会長